

河川 約300年前の地震から崩れ続ける「大谷崩」 ～安倍川への土砂流出を抑える～

08

おおやさんぶくこう
大谷山腹工



- 大谷崩では、山腹斜面の不安定土砂が安倍川へ一気に流出しないように、山腹工※1を施工しています。
 - 安倍川の源流部に位置する大谷崩は、日本三大崩れ※2の1つです。
 - 世界遺産に登録された「三保の松原」の砂浜は、安倍川から運ばれた土砂でできています。
- ※1 山腹工とは斜面に対し、整形や吹付などを行い斜面を安定させる工事です。
- ※2 日本三大崩れは「^{おおや}大谷崩（静岡県）」「^{ひえだやま}禪田山崩れ（長野県）」「^{とんびやま}鳶山崩れ（富山県）」の3ヶ所です。



※ 見学にあたってのご案内（5月以降の見学を受け付けます）

- ◇ 工事箇所へは近寄れないため、大谷崩の麓（上図、案内地点）で、写真等での説明となります。
- ◇ 山間地で天候が変わりやすいので、急遽、集合場所での説明のみとなる場合があります。
- ◇ 見学内容や方法は個別に相談させていただきます。詳しくは下記へお問い合わせください。

【問合せ先】 静岡河川事務所 総務課 電話054-273-9100

【アクセス】

（集合場所まで） **E1A** 新東名高速道路 新静岡ICより車で約50分（約35km）

（集合場所から、現場麓（ふもと）まで）車で約20分（約7km）

X 静岡河川事務所公式X(旧Twitter)
@mlit_shizukawa

【HP】

